

宮崎議員（自民議連）

令和2年2月28日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）産業界が求めるものづくり人材の量の確保策について

工業高校への入学希望する生徒が少数であるということ、公立高等学校の選抜（Ⅱ）の工業科は初めて倍率が1倍を切ったことについて、少子化の影響もあると思うが、工業科に進む生徒が減少しているという実態があるが、この点について、何が要因となっているのか。

（答）

公立高等学校の工業科の選抜Ⅱにおけます最終志願倍率につきましては、新聞記事でもご覧になっていただいていますように、平成10年度入学者選抜以降、1倍を超えておりましたけれども、この度の令和2年度入学者選抜におきまして、初めて、工業高校といたしましては、全体ですが、1倍を下回ったところでございます。

こちらにつきましては、今年度の全日制本校の選抜Ⅱの最終志願者が約1,200人減となりまして、全体の志願倍率も下がったことから工業科の志願倍率も下がったものだと考えております。

いずれにいたしましても、この結果につきまして詳細に要因分析を行うとともに、工業高等学校への入学希望者の増加に努めてまいりたいと考えております。